

東久留米市地域自立支援協議会

ニュースレター 第6号

発行日 平成30年3月29日

東久留米市では、心身に障害を持つ方への施策について、市民に参加して頂き考えていく場として、平成24年10月に「東久留米市地域自立支援協議会」を設けました。このニュースレターは、協議会で話し合われた内容について、広く市民にお知らせする目的で発行するものです。第6号では、今年度1年間かけて行われた第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画の概要と、各委員の1年間の感想や、今後の地域自立支援協議会に望むこと等についてまとめました。

地域自立支援協議会

障害のある方へ、介護や医療サービスをはじめ様々な公的サービスを行うために定めた「障害者総合支援法」と呼ばれる法律があります。その中に、市町村は「協議会」を設けて、その地域における障害者への支援体制についての課題を整理し、支援を行う側の協力関係を強め、地域の実情にあったサービスが行えるように協議をする、ということが盛り込まれています。また、その協議会には、実際に障害のある方とそのご家族にもなるべく参加していただくようにと書かれています。

そのことを受けて、市では「地域自立支援協議会」についての決まりを作りました。そして、協議会では、(1) 障害のある方から相談を受けた時に適切に対応するためにはどうしたら良いか、(2) サービスを行う側の連携を高めるためにどうしたら良いか、(3) この地域で不足しているサービスにはどのようなものがあるか、(4) 様々なサービスの量的な目標を定める「障害福祉計画」をどのように立てるか、などについて話し合っていくことにしました。協議会委員は、16名(平成30年3月1日現在)で運営しております。



東久留米市第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画の概要

○ 計画の趣旨

東久留米市では、障害の有無によって分け隔てられることなく、すべての人が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、ノーマライゼーションの推進に努めています。障害者等が住み慣れた地域で暮らしていくためには、身近なところで安心して相談ができ、適切な指導、援助が受けられる支援体制や、主体的に必要なサービスを選択できる環境の充実が求められます。

そこで、社会的障壁を取り除き、障害のある人の自立と社会参加の支援を総合的かつ計画的に実施するために、本市は「障害のある人が地域で安心して暮らすことができ、自らの意志で参加できるまち」を基本理念とした『東久留米市障害者計画・第4期障害福祉計画』を、平成27年3月に策定しました。

これまで本市では、障害福祉サービスの利用実績をもとに東久留米市地域自立支援協議会にて同計画の点検・評価を行いながら、施策の推進に努めてきました。東久留米市第4期障害福祉計画については、平成29年度に計画の期間が終了となることから、長期的な視点から計画的に障害者福祉に関する施策を引き続き推進していくために、『東久留米市第5期障害福祉計画』を策定します。合わせて、障害児に係るサービス提供体制の構築を計画的に推進していくため、『第1期障害児福祉計画』を策定します。

○ 計画の期間と対象

『第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画』の期間は平成30年度を初年度とし、平成32年度までの3年間とします。また、この計画は、市民、企業（事業所）、行政機関などすべての個人及び団体を対象としています。

※平成31年（2019）年中に元号の改正が予定されていますが、新元号が決定していないため、本計画においては2020年以降についても「平成」で標記します。

○ 事業量の見込み値

今年度の地域自立支援協議会では、『第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画』策定に向けて、第4期計画期間中のサービス利用実績の評価を行いました。今回の計画で示した今後3年間の事業量の見込み値については、同協議会で出た意見や国の指針、障害福祉

サービスを提供する事業者へのヒアリング調査や実際にサービスを必要とする方々へのアンケート調査、また、パブリックコメント等により広く市民の方々から意見を募り策定しています。

☆訪問系サービス

(月あたり)

区分		第4期障害福祉計画(実績)			第5期障害福祉計画(見込み)		
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
居宅介護	実利用者数	79	65	76	78	78	78
	延べ利用時間数	852	758	883	858	858	858
重度訪問 介護	実利用者数	21	19	21	23	24	25
	延べ利用時間数	7,233	6,479	7,115	7,820	8,160	8,500
同行援護	実利用者数	21	24	25	27	28	29
	延べ利用時間数	402	423	501	486	504	522
行動援護	実利用者数	22	23	23	24	24	25
	延べ利用時間数	674	677	656	720	720	720

H27、H28年度は年度末(3月)実績、H29年度は9月実績

【訪問系サービスの見込量確保に向けての方策】

○同行援護や行動援護など、福祉人材の不足により利用者の需要に対応できない状況について、事業所と連携して人材の確保に努めます。

○サービスの質の向上や福祉人材のスキルアップのため、研修情報の提供や地域自立支援協議会主催の講演会等を実施します。

☆日中活動系サービス

区分		第4期障害福祉計画(実績)			第5期障害福祉計画(見込み)		
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
生活介護	月あたり実利用者数	230	234	236	242	248	254
	月あたり延べ利用日数	4,804	4,883	4,495	4,840	4,960	5,080
自立訓練 (機能訓練)	月あたり実利用者数	1	1	1	1	1	1
	月あたり延べ利用日数	12	14	14	14	14	14
自立訓練 (生活訓練)	年あたり実利用者数	12	13	15	17	18	19
	年あたり延べ利用日数	207	253	289	340	360	380
宿泊型訓練	年あたり実利用者数	2	0	0	1	1	1
	年あたり延べ利用日数	62	0	0	30	30	30
就労移行支援	月あたり実利用者数	30	34	41	45	50	55
	月あたり延べ利用日数	514	618	680	765	850	935
就労継続支援 (A型)	月あたり実利用者数	15	15	18	19	20	21
	月あたり延べ利用日数	327	319	357	399	420	441
就労継続支援 (B型)	月あたり実利用者数	291	284	291	305	312	319
	月あたり延べ利用日数	5,128	5,106	4,824	5,185	5,304	5,423

療養介護	月あたり実利用者数	8	10	10	11	12	13
短期入所	月あたり実利用者数	48	40	39	55	58	61
	月あたり延べ利用日数	318	253	285	358	377	397
職場定着支援 (H30からの新規事業)	年あたり実利用者数	—	—	—	12	15	18
	定着率(%)	—	—	—	—	80	80

H27、H28年度は年度末(3月)実績、H29年度は9月実績

【日中活動系サービスの見込量確保に向けての方策】

- 福祉人材の不足により、利用者の需要に対応できない状況について、事業所と連携して人材の確保に努めます。
- 障害者の高齢化・重度化に伴う利用者の増加や、特別支援学校等の卒業生の進路希望の増加による生活介護の定員の不足が予想されます。利用者の希望するサービスの提供体制の確保のため、近隣市や東京都と連携しながら圏域の課題として方策を検討していきます。
- 平成30年度より始まる就労定着支援においては、市内で開設を予定している事業所と就労支援室との連携により、一般就労へ移行した方の定着率の向上を目指します。

☆居住系サービス

(月あたり)

区分	第4期障害福祉計画(実績)			第5期障害福祉計画(見込み)		
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
共同生活援助(実利用者数)	125	123	127	143	145	147
施設入所支援(実利用者数)	92	92	91	92	91	90
自立生活援助(実利用者数) (H30からの新規事業)	—	—	—	3	7	10

H27、H28年度は年度末(3月)実績、H29年度は9月実績

【居住系サービスの見込量確保に向けての方策】

- 福祉人材の不足により、利用者の需要に対応できない状況について、事業所と連携して人材の確保に努めます。
- 施設入所支援については、基本方針としての地域移行の推進と当事者の希望との調整を図りながら、徐々に減っていくように計画します。
- 入所施設等からの地域移行や親亡き後を見据えた方策として、グループホームの整備が必要とされています。予定されているグループホーム2ユニット(定員12名)により、見込み量の確保に努めます。
- 平成30年度より始まる自立生活援助により、一人暮らしを希望する方への支援を行うと共に、入所施設やグループホーム、長期入院からの地域移行を推進します。

☆特定相談支援と地域相談支援

(月あたり)

区分	第4期障害福祉計画(実績)			第5期障害福祉計画(見込み)		
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
計画相談支援(利用件数)	87	86	89	91	93	95
障害児相談支援(利用件数)	15	16	26	28	30	32
地域移行支援(利用件数)	0	0	0	1	1	1
地域定着支援(利用件数)	0	0	0	1	1	1

各年度月平均実績、H29年度は9月までの月平均実績

※計画相談支援、障害児相談支援はモニタリング利用件数を含む

【相談支援事業の見込量確保に向けての方策】

○施設代表者会相談支援部会でのケース検討等により、計画相談支援のサービスの質の向上を図ります。

☆自立支援医療

(年間あたり)

区分	第4期障害福祉計画(実績)			第5期障害福祉計画(見込み)		
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
更生医療(実利用者数)	70	65	69	75	75	75
育成医療(実利用者数)	14	9	4	10	10	10
精神通院(実利用者数)	1,953	1,988	2,031	2,070	2,110	2,150

H27、H28年度は年度末(3月)実績、H29年度は9月実績

☆補装具

(年間あたり)

区分	第4期障害福祉計画(実績)			第5期障害福祉計画(見込み)		
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
実利用者数	239	265	290	315	340	365

☆地域生活支援事業

区分		第4期障害福祉計画(実績)			第5期障害福祉計画(見込み)		
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
委託相談支援実施個所(年間あたり)		2	2	2	2	2	2
成年後見制度利用件数(年間あたり)		0	1	0	1	1	1
移動支援	実施個所(年間あたり)	47	52	55	56	58	58
	実利用者数(年間あたり)	310	315	284	320	325	330
	月あたりの延べ平均利用時間数	2,640	2,588	2,609	2,650	2,700	2,750
介護・訓練支援用具(年間あたり件数)		19	19	19	19	19	19
自立生活支援用具(年間あたり件数)		15	20	24	24	24	24
在宅療養等支援用具(年間あたり件数)		14	23	15	16	16	16
情報・意思疎通支援用具(年間あたり件数)		14	23	24	26	28	30
排泄管理支援用具(年間あたり件数)		2,002	2,193	2,300	2,400	2,500	2,600
住宅改修(年間あたり件数)		10	7	8	8	8	8
訪問入浴	月あたり実利用者数	—	—	1	1	1	2
	月あたり利用回数	—	—	2	2	2	4
日中一時支援	実施個所(年間あたり)	6	6	6	6	6	6
	実利用者数(年間あたり)	206	189	178	190	200	210
手話通訳派遣件数(年間あたり)		349	372	370	390	410	430
要約筆記派遣件数(年間あたり)		37	30	30	30	30	30
手話通訳者及び通訳登録者養成講習修了者数(年間あたり)		65	65	65	65	65	65
地域活動支援センターI型	実施個所(年間あたり)	1	1	1	1	1	1
	実利用者数(年間あたり)	68	61	60	62	65	65
地域活動支援センター	実施個所(年間あたり)	1	1	1	1	1	1
	実利用者数(年間あたり)	37	31	31	32	33	35

Ⅱ型							
----	--	--	--	--	--	--	--

H27、H28年度は年度末(3月)実績、H29年度は9月実績

【地域生活支援事業の見込量確保に向けての方策】

- 移動支援や日中一時支援など、福祉人材の不足により利用者の需要に対応できない状況について、事業所と連携して人材の確保に努めます。

東久留米市第1期障害児福祉計画の概要

○計画の基本的な考え方

障害児支援を行うに当たっては、障害児本人の最善の利益を考慮しながら、障害児の健やかな育成を支援することが必要です。このため、障害児及びその家族に対し、障害の疑いがある段階から身近な地域で支援できるように、障害種別にかかわらず、質の高い専門的な支援を行う障害児通所支援等の充実を図るとともに、地域支援体制の構築に向け、『第1期障害児福祉計画』を策定しています。

☆児童発達支援

(月あたり)

区分	第4期障害福祉計画(実績)			第1期障害児福祉計画(見込み)		
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
実利用者数	49	50	48	50	52	54
延べ利用日数	605	701	731	750	780	810

H27、H28年度は年度末(3月)実績、H29年度は9月実績

☆放課後等デイサービス

(月あたり)

区分	第4期障害福祉計画(実績)			第1期障害児福祉計画(見込み)		
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
実利用者数	122	132	148	161	174	187
延べ利用日数	1,434	1,601	1,731	1,932	2,088	2,244

H27、H28年度は年度末(3月)実績、H29年度は9月実績

☆保育所等訪問支援

(月あたり)

区分	第4期障害福祉計画(実績)			第1期障害児福祉計画(見込み)		
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
実利用者数	—	—	—	1	1	1
延べ利用日数	—	—	—	2	2	2

※H27、H28年度は年度末(3月)実績、H29年度は9月実績

【児童系サービスの見込量確保に向けての方策】

○市内に児童発達支援、放課後等デイサービスの事業所が増えることが予想されるなか、東京都と市による指導、実地検査や事業所間の情報交換等により、サービスの質の向上を目指します。

委員から

「今期の地域自立支援協議会委員として感じたこと」

「今後の地域自立支援協議会に望むこと」

今期は、平成30年度からの「第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画」の策定にあたり、協議会で活発な議論を行いました。国の方針を見据えつつ、調査の結果などを踏まえて東久留米市に適した計画を作る過程で、あらためて障がいのある人の権利が当たり前には保障されるためになすべきことを実感致しました。福祉を支えていくには、障害に関わる様々な考えを共有した相互理解に基づく連携・協働が求められます。「今、そして未来に向けて何が大切なのか？」を、多くの方が“ことば”で伝え合うことを大切にしたいです。

東久留米市地域自立支援協議会 会長 澤 隆史

“もっと市民の声を” 障害のある人たちの暮らしを豊かにしていくためには、市民の方々の障害に対する理解を進めていく必要があります。マスコミからは「相模原やまゆり事件」などの大きな事件を扱うことが多いのですが、その報道からは障害者の姿が見えません。わたしたち東久留米市には多くの障害のある方々がその人なりに一生懸命生きています。その姿を伝えともに支えあいながら地域を豊かにしていくことを委員会の使命として、障害のあるなし関係なくより多くの市民の声を聞かせていただきたいと思います。

磯部 光孝

平成24年10月に協議会設置より当事者団体の一人として参加させていただいています。今期は、主として第4期障害福祉計画の振り返りと第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画の素案についてでしたが、改めて当事者のリアルな日常と想像できる限りのこれからの暮らしを委員の皆さまにお伝えすることの難しさを痛感しているところです。

長田 菜穂美

定年で仕事を終え、地域に貢献したい、障害をもつ方のお役にしたいとの思いで「身体障害者福祉協会」に入会し、12年になります。

縁あって「地域自立支援協議会」に委員として参加させていただきました。各委員の取り組みの真剣さ、具体的な支援策等の発言をうかがっていると、私に新たな自覚が生まれました。自分は、障害者に役立っているのではなく、勉強させてもらっている。障害のある方々に関わることが、生きがいであり、自身の居場所であることを実感しました。

松本 健彦

身体障害、知的障害、精神障害、心身機能の障害等のために、一人一人障害は違っても日常生活、社会生活に差別なく、平等に安心して住める社会づくりの必要性を考えていくことの大切さを感じております。

及川 静子

今年度の地域自立支援協議会では、市内在住の障害者にアンケートで「意識調査」を実施しました。その中でさらに障害を分類した結果、聴覚障害者の実態が把握できた事は、私としては今後のろうあ協会の活動の大きな弾みになりました。

また、「住みよいまちづくり部会」では、今年度は1回しか開催されず残念でしたが、聴覚障害者の災害時における「避難方法」の話し合いが出来、それを通して防災・防犯課長さまとの話し合いの場が設けられたことは一歩前進し、近い将来、聴覚障害者と市民との共助による「避難訓練」(モデル)を実現したいと思っております。

平山 征子

今年度の自立支援協議会は、「第5期障害福祉計画」及び「第1期障害児福祉計画」の策定が主なテーマでした。いずれも平成30年度からの私たちが住んでいる町の大変重要な計画です。策定に関して、内容も多岐にわたるため、より誰もがわかるように数値目標を掲げる形で表現しています。

一方では、数値に表れない課題も多岐に渡り、計画にうたっていないからといって何もしないということにはならないはずです。可視化されたニーズ、また見えないニーズ、どちらもサービスを必要とする方において、私たちが取り組んでいかなければならないことと思います。

飯島 一憲

法人の異動により、昨年11月から地域自立支援協議会に参加させていただきました。

今年度は、東久留米市の地域自立支援協議会の活動を勉強させていただきました。

来年度は、地域自立支援協議会の目的の一つである、「地域の関係機関によるネットワークの構築に関すること」に注目し、部会の活性化を目指し事業所職員同士の顔の見える連携を強化して行けるように努力していきたいと思っております。

小林 宏治

今年の協議会では二つのことが印象に残りました。一つ目は、石渡和実先生による研修(1月19日夜)で、成年後見制度は本人の権利を制限して守るという考え方なのに対し、意思決定支援は本人の意思を確認しそれに基づいて支援するという新しい考え方だということを知りました。二つ目は相談支援部会で、放課後等ディサービス(9月5日)及びアルコール依存症(11月7日)に対する支援を行っている現場の方のお話を聞いて議論したことが新鮮でした。

高原 聡

第4期に引き続き、第5期障害福祉計画の策定にかかわらせていただき、東久留米市の障害福祉について改めて考えることができた1年でした。2回目の計画策定だったこともあり、より具体的にニーズが把握できたように思います。ヘルパー不足、施設・事業所不足で、障害がある方が地域で暮らすには厳しい課題があることも把握できました。少しでも解決のお手伝いができるように、関係各所で協力できたらと願っています。

有馬 優子

平成29年度は第5期障害福祉計画の策定に向けた協議が続きました。障害当事者の皆さんやご家族、地域の支援機関からの声（調査等）を生かして、数値目標を設定するのはとても難しいと感じました。今後は、数値には示し切れない東久留米市での暮らしの具体的な課題を教えていただき、皆さんと一緒に協議を重ねていければと思います。

橋本 雅美

今年度は、第5期障害福祉計画策定に関連して特別支援学校の在籍状況と卒後の日中活動の状況と見込みについて考えてきました。

障害の有無にかかわらず、豊かに働き・楽しみ・安心して暮らしていける東久留米市を目指す地域自立支援協議会として、ますます機能して行ってほしいと思います。

吉澤 洋人

今回は「第5期障害福祉計画」の作成とあわせて、「第1期障害児福祉計画」も作成とのことで、これから地域で成長していく児童のために、この計画がよりよいものになっていくよう、結果もよく検証していければと思います。また、高校中退者の中には障害を抱えている者も多い現状から、児童期後から18歳までの間の相談、支援ももう少し広がっていくことを期待し、検討もしていただければと思います。

石井 克枝

協議会委員として一年経ちました。委員会の中でお話しを聞かせていただいて自分なりに勉強はしているのですが、まだまだ分からないことばかりです。少しでも皆さんに近づければと思っています。専門的なことはわかりませんが、協議会で学んだことを今後の民生委員の活動に生かせればいいと思います。

後藤 千賀子

今期は、障害福祉計画の改訂と障害児福祉計画を新たに策定する機会にあたり、少しずつでも課題解決に向け、知恵を出し合う場に立ち会うことで、私も含め各委員も自らの役割を果たす意識の向上につながったと感じました。

また相談支援部会では、身近にある市内での取り組みや情報を詳しく知ることもできました。今後は、計画の進捗を見守ると共に、ここで会得した意識や知識を更に広く発信していけるよう努めたいと思います。

大櫛 昌史

ひがしくるめしちいきじりつしえんきょうざいかい いいんめいぼ へいせい ねんど
 東久留米市地域自立支援協議会 委員名簿 (平成29年度)

しゅ 種	べつ 別	にんずう 人数	し めい 氏 名	せんもんぶかい 専門部会	び こう 備 考
しょうがいふくし かん がくしきけいけんしゃ 障害福祉に関する学識経験者		1	かい ちよう さわ たかし 会 長 澤 隆史		
しょうがいろうじしきまた しょうがろくしゃだんたい かぞくかい だいいん 障害当事者又は障害者団体・家族会の代表者		5	ながた なほみ 長田 菜穂美	すみよいまちづくり	ふくぶかいちよう 副部会長
			まつもと たけひこ 松本 健彦	そうだんしえん 相談支援	
			おいかわ しずこ 及川 静子	すみよいまちづくり	
			ひらやま せいこ 平山 征子	すみよいまちづくり	
			おだじま えいち 小田島 榮一	そうだんしえん 相談支援	
そうだんしえんじぎょうしゃ 相談支援事業者		2	いじま かずのり 飯島 一憲	すみよいまちづくり	
			こはやし こうじ 小林 宏治	そうだんしえん 相談支援	
しょうがいふくし じぎょうしゃ 障害福祉サービス事業者		3	ふくかいちよう いそべ みつたか 副会長 磯部 光孝	すみよいまちづくり	ぶかいちよう 部会長
			たかはら とし 高原 聡	そうだんしえん 相談支援	ぶかいちよう 部会長
			ありま ゆうこ 有馬 優子	そうだんしえん 相談支援	ふくぶかいちよう 副部会長
ほけんいりようかんけいしゃ 保健医療関係者		1	はしもと まさみ 橋本 雅美	すみよいまちづくり	
きょういくかんけいしゃ 教育関係者		1	よしざわ ひろと 吉澤 洋人	そうだんしえん 相談支援	
しゅうろくしえんかんけいしゃ 就労支援関係者		1	いしい かつえ 石井 克枝	そうだんしえん 相談支援	
みんせいどういん だいいん 民生児童委員の代表者		1	ごとう ちかこ 後藤 千賀子	すみよいまちづくり	
しゃかいふくしきょうざいかい だいいん 社会福祉協議会の代表者		1	おおくし まさふみ 大櫛 昌史	そうだんしえん 相談支援	
ごう 合	けい 計	16			

※ 平成30年3月現在。委員任期 平成28年4月1日～平成30年3月31日

自立支援協議会の議事概要は市のホームページに掲載されています。

<http://www.city.higashikurume.lg.jp/>

トップページ>市政を身近に>会議の結果>障害福祉課>東久留米市地域自立支援協議会

編集・発行 東久留米市地域自立支援協議会事務局

Email:shogaifukushi@city.higashikurume.lg.jp